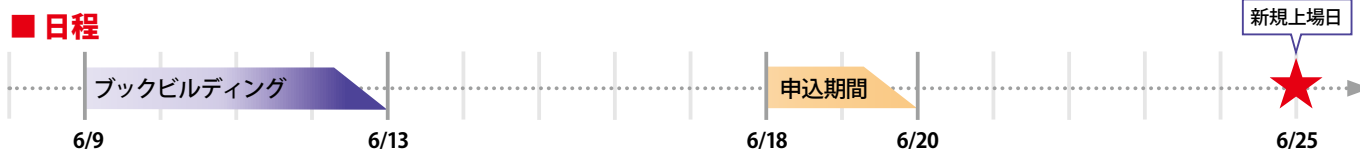


IPO銘柄 ポパール興業 (4247・名証2部)

| コード | 投資単位 | 公開株式数 | 仮条件 (上限 PER) | 主幹証券 |
|------|------|--------------------------------------|---------------------|--------|
| 4247 | 100株 | 公募: 25.00万株 売出: 0.00万株 (OA3.75万株) | 930円~980円 (6.2倍) | 東海東京証券 |



工業用ベルト、ガラス研磨用部材など樹脂加工品を手掛ける

■ 事業内容

工業用ベルト、ガラス研磨用部材など、樹脂加工品の製造・販売を手掛ける。主要製品は、ベルト関連では特殊コンベアベルト、機能性ベルト、伝動ベルトなど。さらに、ベルト製造で培った素材選定、接着、樹脂加工の加工技術を活用し、研磨用部材の開発にも取り組む。研磨関連には、ガラス研磨工程における台座や緩衝材の部材、光学部品用の研磨パッドなどがある。海外展開も推進しており、韓国、中国、タイなどアジア向け売上高が全体の約3分の1を占める。また、欧州でも事業を展開中。14年3月期第3四半期累計 (13年4~12月) 実績の売上高構成比は、ベルト関連が54.0%、研磨関連が32.4%、発泡ウレタンによる緩衝剤や不織布フィルターなどのその他が13.6%。

■ 特徴

少量、多品種に対応し、カスタムメイドの高付加価値製品が多い点が特徴。ユーザーは、ガラス、金属・鉄工、食料品、繊維、輸送用機器など幅広い業界に及ぶ。このうち、ガラス業界向けの売上高が全体の約3分の1と最も多い。主要取引先は旭硝子。

アナリストコメント

■ 定量分析

15年3月期の連結経常利益は前期比0.5%減の2億8,100万円を見込む。売上高は増加する見通しだが、上場費用負担などもあって小幅ながら減益を予想する。中長期的な高成長が期待されるビジネスモデルでもなく、業績面からの評価は難しそうだ。

■ 定性分析

地方に本拠を置く工業用ベルトメーカーであり、IPOマーケットで好まれるタイプの案件とは言いづらい。想定発行価格から試算した配当利回りは3%を超えているが、名証2部上場ということもあり、初値買い人気を集めづらい条件が多くなっている。

■ 需給状況

仮条件の上限で試算した市場からの吸収金額は2.8億円。地方市場2部への上場ということで割り引いて考える必要がある。ただ、仮条件の上限が想定発行価格 (930円) を上回って設定されており、下値不安は大きくなさそうだ。

(小泉健太)

■ 類似企業

| | |
|--------------------|----------------------|
| ポパール興業 (4247・名証2部) | 予想PER6.2倍 (仮条件上限) |
| 三ツ星ベルト (5192・東証1部) | 予想PER9.1倍 |
| ニッタ (5186・東証1部) | 予想PER10.5倍 |

■ 引受証券

東海東京証券、東洋証券、安藤証券、マネックス証券

業績・財務指標

| | 売上高 (百万円) | 前年比 (%) | 経常利益 (百万円) | 前年比 (%) | 純利益 (百万円) | 前年比 (%) | EPS (円) | 1株あたり 年間配当金(円) |
|-------------------|--------------|------------|---------------|------------|--------------|------------|------------|-------------------|
| 13年3月期(実績) | 2,277 | 6.2 | 274 | 51.4 | 179 | 2.7倍 | 174.7 | 150.0 |
| 14年3月期 (実績見込み) | 2,318 | 1.8 | 282 | 2.9 | 214 | 19.6 | 208.2 | 18.0 |
| 15年3月期(会社予想) | 2,392 | 3.2 | 281 | ▲0.5 | 191 | ▲10.7 | 157.0 | 30.0 |

※ 14年2月に株式分割(1株→10株)を実施。13年3月期、14年3月期のEPSは遡及修正

| | 発行済み 株式総数(株) | 総資産 (百万円) | 純資産 (百万円) | 資本金 (百万円) | BPS (円) | 自己資本比率 (%) | 自己資本当期 純利益率(%) |
|--------|-----------------|--------------|--------------|--------------|------------|---------------|-------------------|
| 12年3月期 | 102,990 | 3,937 | 3,224 | 50 | 3,070.2 | 80.3 | 2.1 |
| 13年3月期 | 102,990 | 4,223 | 3,468 | 50 | 3,361.3 | 82.0 | 5.4 |

※ 12年3月期および13年3月期のBPSは遡及修正

大株主上位(上場前)

| | 氏名または名称 | 所有株式数(株) | 所有割合(%) |
|----|--------------|----------|---------|
| 1 | 神田 隆生 | 472,230 | 45.85 |
| 2 | 神田 くみ子 | 123,650 | 12.01 |
| 3 | 神田 亜希 | 74,110 | 7.20 |
| 4 | 神田 有華 | 74,110 | 7.20 |
| 5 | 神田 朝子 | 50,120 | 4.87 |
| 6 | 神田 誠太郎 | 36,000 | 3.50 |
| 7 | 堀田 忍 | 36,000 | 3.50 |
| 8 | 中島 幸子 | 35,020 | 3.40 |
| 9 | ポパール興業従業員持株会 | 19,370 | 1.88 |
| 10 | 畔柳 修 | 16,200 | 1.57 |

経営陣

| 役職 | 氏名 |
|----------|-------|
| 代表取締役社長 | 神田 隆生 |
| 取締役 管理部長 | 坂倉 満 |
| 取締役 製造部長 | 安井 正己 |
| 取締役 営業部長 | 松井 孝敏 |
| 常勤監査役 | 畔柳 修 |
| 監査役 | 伊東 和男 |
| 監査役 | 春馬 学 |

モーニングスターIPOレポートの読み方

特 徴

モーニングスター IPO（※1）レポートでは、日本国内の取引所に新たに上場する銘柄を取り上げ、モーニングスターが位置する中立的な第三者としての立場から IPO に関する情報を提供いたします。ブックビルディング（※2）が始まる前にレポートを提供することにより、IPO への参加を検討している投資家にとって有用な情報となるでしょう。モーニングスター IPO レポートには、企業名・コード・公開株式数など基本情報やブックビルディング期間・申込期間など IPO 日程のほか、モーニングスターの担当アナリストによるコメントを掲載いたします。

※1 IPO (Initial Public Offering)：新規株式公開。

※2 ブックビルディング：引受証券会社が機関投資家などの意見をもとに決定した仮条件を投資家に提示し、投資家の需要がどの程度あるかを把握することによって、マーケットの動向に即した公開価格を決定する方法。一般的に需要積み上げ方式と呼ばれる。

項目説明

■ 事業内容

新規上場企業の事業概略を解説します。主要製品やサービスのほか、セグメント別の売上高構成比率などを記載。新規上場時の事業の状況や、先行きの見通しなども交えて分かり易くお伝えいたします。

■ 特徴

新規上場企業の設立経緯から現在の事業環境、ビジネスモデルや事業の強み、顧客動向、業績内容、海外展開、経営陣など様々な観点から特筆すべきエッセンスのみを抽出し、掲載いたします。

■ 定量分析

新規上場時に開示される前期、前々期の業績実績と今期の会社計画を用い、業績の成長性や収益性、財務安定性の面から新規上場銘柄を分析いたします。

■ 定性分析

新規上場銘柄が持つ事業の特性や事業環境、セクター動向などを踏まえ、定性的な評価をするほか、足元の株式市場の状況などを考慮して、マーケットから見た新規上場銘柄に対する見方なども掲載します。

■ 需給状況

公募・売り出しの株数と仮条件をふまえ、市場からの吸収金額を試算するほか、足元の新興市場の動向、類似企業の株価推移、ベンチャーキャピタルによる保有株放出の可能性なども考慮し、上場初日の需給状況を予想いたします。

■ 類似企業

新規上場企業と同じ業種に属する競合他社や類似企業を取り上げて PER を併記いたします。PER の水準は初値の参考指標として有効です。